

平成 30 年度当初予算において意見を反映した主な事業

◎意見数 48

◎新規(一部新規含む)・拡充事業数 16 事業 (内訳:新規 8、拡充 8)

主な事業 (新規 (一部新規含む)・拡充事業)

(単位:千円)

子育て支援・人づくりの充実

「保育士の人材確保のため、保育士の職場復帰や待遇改善への支援に取り組んではどうか」

⇒ 新たに、離職などで現在就労していない保育士の職場復帰に向けたトライアル雇用に対する助成や、保育士の離職防止に向けた経営改善に取り組む保育所への支援を行い、保育士人材の確保を図ります。
(保育士人材確保研修等事業費 41,633)

安全・安心な社会の構築

「交通事故防止のため、運転者の交通安全意識の向上に取り組んではどうか」

⇒ 新たに導入した交通安全危険予測シミュレータの活用により、歩行者への注意の必要性を地域社会全体で認識し、交通安全意識の高揚につながるよう、運転者への啓発に取り組んでまいります。
(交通安全総合対策費 7,998)

産業振興・雇用創出

「地元の中小企業において人材確保が難しい。優秀な技術の継承のためにも、人材確保を支援してはどうか」

⇒ 多様な働き方の導入を促進し、女性や高齢者等の就業率の向上を図るほか、離職防止に向けた経営者向けセミナーや若手社員を対象とした交流会の開催など、産業人材の確保・定着に向けた取組みを推進してまいります。
(県内定着・回帰促進事業費 18,181 人手不足対策推進事業費 34,810)

農林水産業の展開

「県産米『つや姫』『雪若丸』のブランド化を進めるため、県内外への情報発信に取り組んではどうか」

⇒ 「つや姫」「雪若丸」のテレビCMの制作・放映や「雪若丸」の県内外でのデビューイベントの開催等により、「つや姫」の全国トップブランド評価の浸透、「雪若丸」のブランド化を推進してまいります。
(山形「つや姫」「雪若丸」ブランド推進事業費 171,461)

「観光立県やまがた」の確立

「観光客が不便なく目的地に行けるよう、二次交通の整備が必要ではないか」

⇒ 平成 30 年度は新潟県・庄内エリアにおいてプレデスティネーションキャンペーンが開催されることから、内陸・庄内連携の二次交通整備や、主要駅からの二次交通の拡充に取り組んでまいります。
(新潟・庄内DC誘客推進事業費 84,800)

再生可能エネルギーの活用

「災害時の住民へのエネルギー安定供給のため、地域における再生可能エネルギーの活用を検討してはどうか」

⇒ 新たに県内電力小売事業者の地産地消モデル事業に対する助成等を行い、再生可能エネルギー等による電力と熱の地域分散型の供給体制を整備するとともに、地域内での統合利用の普及を促進し、災害に強いシステム構築を進めてまいります。
(エネルギー地産地消モデル推進事業費 21,301)

県土基盤の形成

「ビジネスや地域の発展のためには、新幹線等の交通インフラの早急な整備が必要ではないか」

⇒ 奥羽・羽越新幹線の早期実現に向け、新たに若者等の運動参加を促す地域ミーティングを開催し、一層の県民気運の醸成を図るとともに、政府への要望活動を展開してまいります。
(奥羽・羽越新幹線整備推進事業費 29,351)